

経営比較分析表（令和2年度決算）

長崎県長崎県病院企業団 富江病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	3,092	第2種該当	-	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

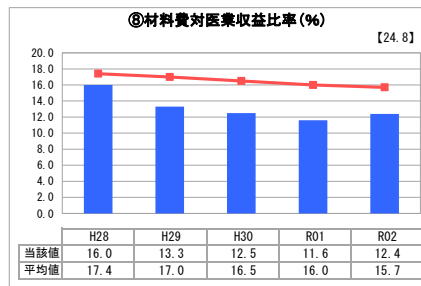
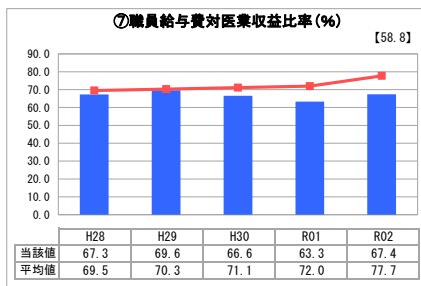
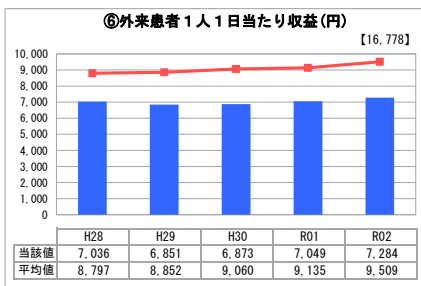
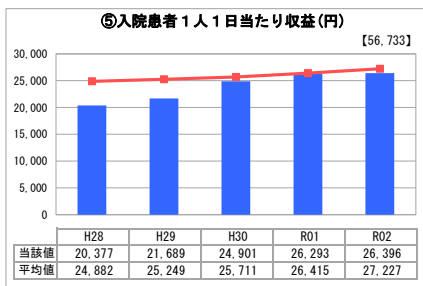
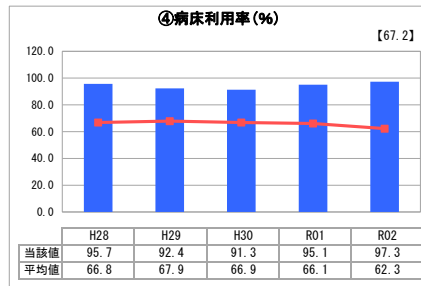
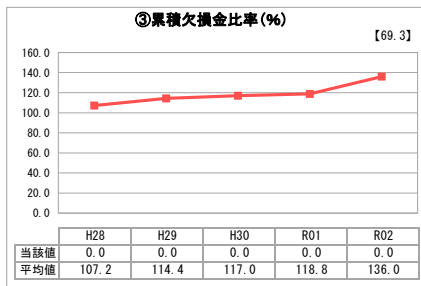
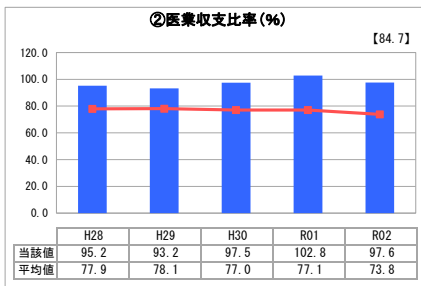
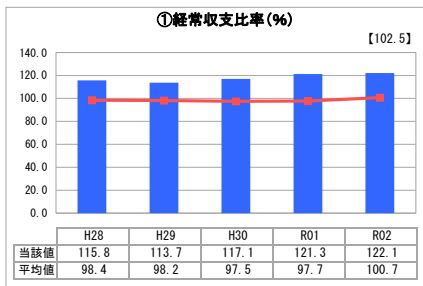
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	55
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
55	-	55

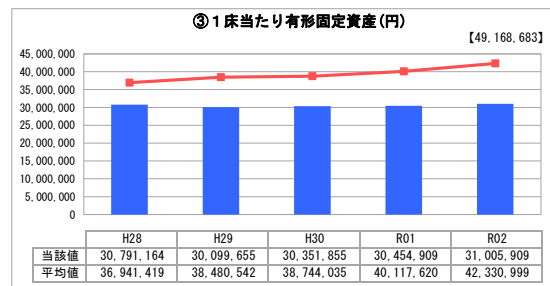
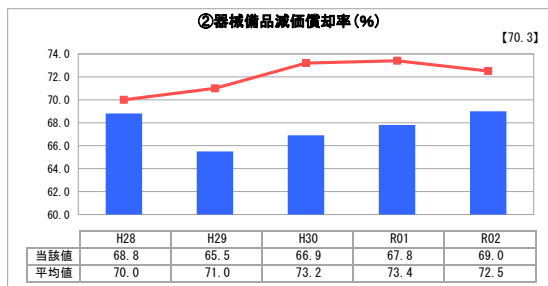
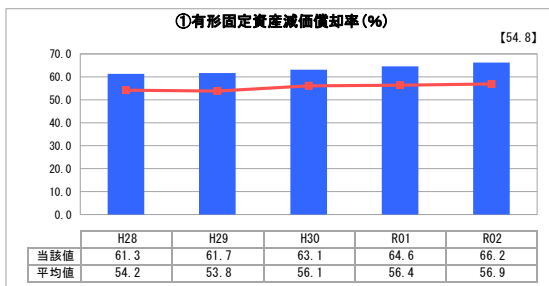
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

五島市富江地区における地域病院として、慢性期や回復期を中心とした医療を提供し、救急医療にも対応する。また基幹病院や老健施設、行政機関とも連携を強化し、在宅医療及び介護施設への訪問診療・訪問看護を行なうことで地域に根ざした医療を目指している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支及び医業収支については、経年比較しても高い水準を維持しており、類似病院よりも良好な状態である。病床利用率は高い水準を維持しており、診療単価も平均値に近い数値で増加傾向にあることが主な要因であり、今後も安定した入院収益の確保に努めたい。また各費用に対する医業収益比率も良好な状態である。しかし外来収益に関しては診療単価が平均値を大きく下回っており、経年比較では増加傾向にあるが、今後も患者確保への取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

過去5年間に①有形固定資産減価償却率は平均値よりも高く、②器械備品減価償却率は平均値よりも低い水準であるが、建物等のインフラ設備の老朽化が類似病院及び全国平均よりも進んでいる状態と思われる。インフラ長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、設備の適切な更新を図りたい。

全体総括

経常収支及び医業収支比率は高い水準で維持できているが、今後も富江地区の人口減少や高齢化が加速していく中で安定した医療提供、収益確保の維持に努めたい。特に外来収益に関しては、新型コロナウイルスの感染対策を徹底した上で診療体制の充実を図り、増収を目指したい。なおインフラ設備に関しては個別施設計画に基づいた更新を図ることで、利用者の安心・安全を確保し、適切な維持管理に努めたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。